

キルトジャパン

針休めの針仕事 2014年1月 冬 156号

和の小粋な小袋

中山弘子

●用意するもの●

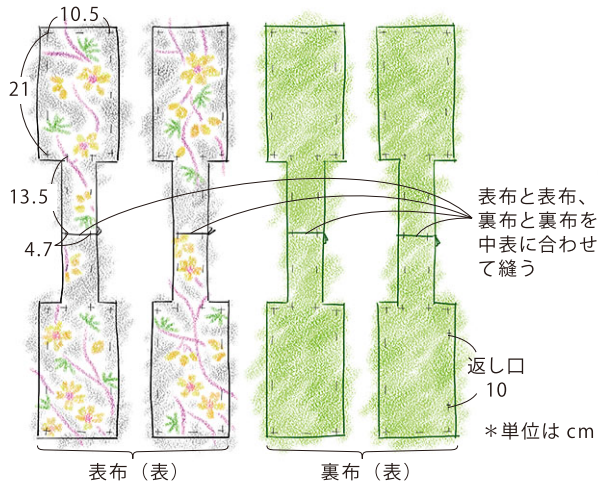
・表布・裏布…和布(和風プリントでも可) 各30×50cm



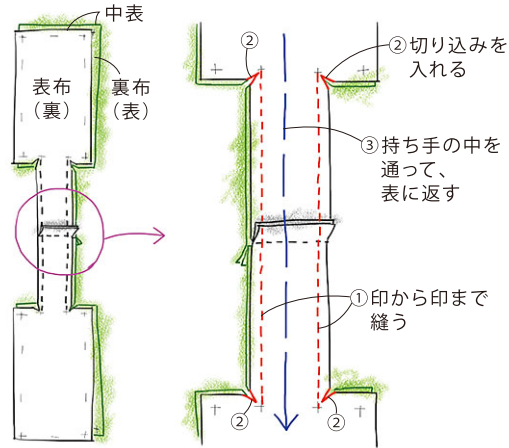
小袋の左右の配色を変えて作ってみました。



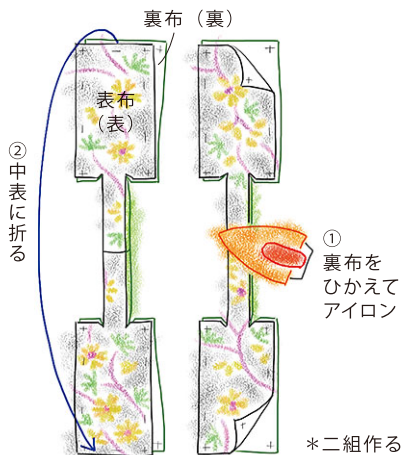
撮影/渡辺淑克
スタイリスト/植松久美子
イラスト/小池百合穂



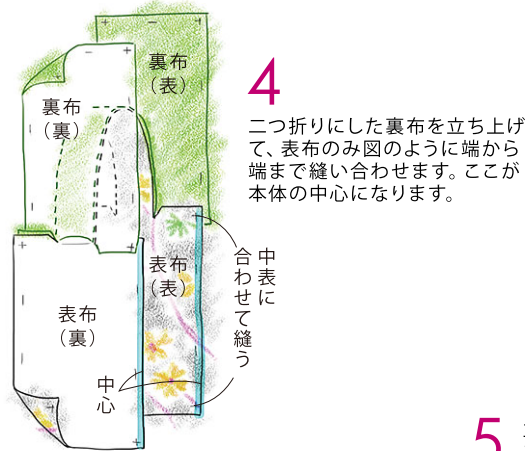
1 表・裏布同寸各4枚を裁ち、表布同士、裏布同士を中表に合わせて持ち手部分の中央を縫います。これを表・裏布各二組ずつ作ります。



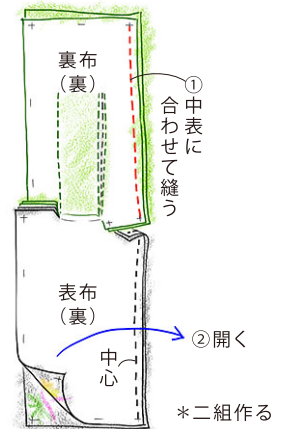
2 1の表布と裏布を中表に合わせて持ち手の部分の両端を印から印まで縫い、切り込みを入れます。片側を持ち手の中に通して表に戻します。同様にしてもう一組作ります。



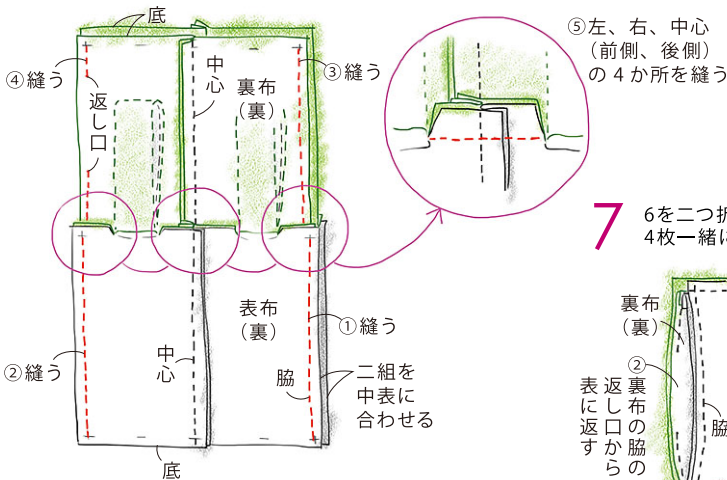
3 持ち手の裏布を気持ちひかえるようにしてアイロンで形を整え、表布が内側になるように二つ折りにします。



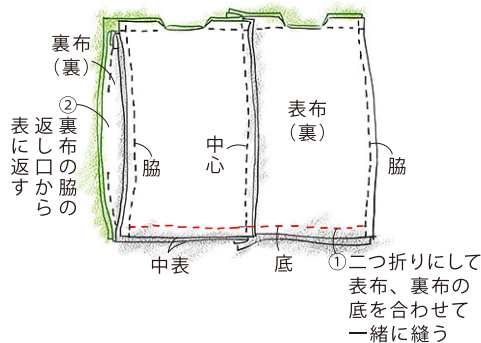
4 二つ折りにした裏布を立ち上げて、表布のみ図のように端から端まで縫い合わせます。ここが本体の中心になります。



5 立ち上げた裏布の中心を縫い合わせます。表布と同様に中表に合わせて裏布の端から端まで縫い合わせます。これをもう一組作ります。



7 6を二つ折りにして表・裏布の底を合わせて4枚一緒に縫い合わせます。



6 5で作った二組を開き、中表に合わせて表布、裏布同士の脇を①～④の順に縫っていきます。次に⑤の袋口を縫い合わせます。表布と裏布の縫い代を合わせて印から印まで4か所縫い合わせます。

8 裏布の脇に作った返し口から本体を表に戻し、返し口を閉じ、形を整えてでき上がりです。



でき上がり!